**令和５年度事業報告について**

事業報告は、定款第３９条第１項により毎事業年度終了後に理事長が作成し監事の監査を受けた上で理事会の承認を受け、同条第２項により定時総会に提出し内容を報告することとされています。

令和５年度事業報告につきましては、令和５年度第２回理事会（令和６年３月６日開催）において中間報告を行うとともに、定款の規程に基づき下記のとおり作成し、令和６年４月２５日に監事の監査を受け、令和６年度第１回理事会（令和６年５月２２日開催）において承認いただいたところです。

**令和５年度事業報告**

中国の需要増加等を背景に令和３年から配合飼料価格が高騰し始め、令和４年からの円安傾向、ロシアによるウクライナ侵攻など飼料穀物の国際価格が高騰し、過去に類を見ないような価格水準が長期間継続しています。

このような状況の中で価格差補てん事業も丸３年発動し続けるなど、長引く飼料価格高騰下において努力いただく各契約者様に、基金の補てん金、滋賀県の緊急支援事業、国の特別対策を合わせて、３年間で１４億８千万円余りをお支払いいたしました。

この結果、全日本配合飼料価格畜産安定基金など全国基金の財源も借入金で賄われる状況となり、令和６年度から積立金単価を見直されたところです。

さらに、農林水産省も配合飼料価格安定制度のあり方に関する検討会を令和６年２月に設置し、改善できる事項は令和７年度からの次期基本契約で対応し始めることとしています。

**Ⅰ　定款に規定された事項の報告**

１　配合飼料価格差補てん事業

定款第４条の（１）に基づき実施した配合飼料価格差補てん事業については、一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金および各飼料荷受組合とそれぞれ契約を締結し、基本契約および数量契約に基づき補てん業務を行いました。

（１）事業主体　一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金

（２）配合飼料価格差補てん契約の締結

①　令和５年度数量契約

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 畜　種 | 当　　　初 | 実　　　績 |
| 加入者(件) | 契約数量(ﾄﾝ) | 契約数量(ﾄﾝ) | 増減(ﾄﾝ) | 構成比(%) |
| 乳用牛 | ２５ | ４，２２８ | 4,２２８ | 0 |  9.１ |
| 肉用牛 | ５７ | ３２，５６４ | 3２,５５９ | △　５ |  6９.８ |
| 豚　 | １ | １４５ | 　　　　１４５ | ０ |  0.３ |
| 採卵鶏 | １３ | ６，４２１ | 6,４２１ | 0 |  1３.8 |
| 肉用鶏 | ６ | ２，６４０ | ２,６４0 | 0 |  ５.７ |
| その他 | １ | ６８０ | 　680 | 0 | 　　1.5 |
| 合　計 | １０３ | ４６，６７８ | 　4６,６７３ | △　５ | 　100.0 |

②　契約の解約

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期　　　　間 | 解約件数 | 解約数量（ﾄﾝ） | 解約畜種 | 備　考 |
| 第１四半期 | ０ | ０ |  |  |
| 第２四半期 | １ | ３ | 肉用牛 |  |
| 第３四半期 | 　　 ０ | ０ |  |  |
| 第４四半期 | ２ | ２ | 肉用牛２件 |  |
| 合　　　計 | ３ | ５ |  |  |

（３）補てん積立金の徴収および納付額

　　①　通常補てん積立金

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期　 　間 | 加入者(件) | 契約数量(ﾄﾝ) | 積立金の額(円) | 備　考 |
| 第1四半期 | １０３ | １１，７３８ | ７，０４２，８００ | ﾄﾝ当り 600円 |
| 第2四半期 | １０２ | １１，４７４ | ６，８８４，４００ |
| 第3四半期 | １０２ | １１，８４５ | ７，１０７，０００ |
| 第4四半期 | １００ | １１，６１６ | ６，９６９，６００ |
| 合　　計 | ― | ４６，６７３ | ２８，００３，８００ |  |

②　別途納付金　　なし（但し、平成29年度未返済者1名）

（４）補てん金の受領および交付額

①　受領および交付額

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 期　　間 | 補てんの種類 | 対象　加入者 (件) | 対象数量(kg) | ﾄﾝ当り単価 (円) | ﾄﾝ当り合計単価 (円) | 交付金額  (円) |
| 令和４年度第４四半期 | 通常異常 | 103 | 10,309,990 | 5,058327 | 5,385 | 55,166,6773,371,348 |
| 令和５年度第１四半期 | 通常異常 | 103 | 10,988,146 | 4,2352,820 | 7,055 | 46,072,68530,986,564 |
| 令和５年度第２四半期 | 通常異常 | 10２ | 10,670,296 | 3,7702,100 | 5,870 | 41,422,32822,407,621 |
| 令和５年度第３四半期 | 通常異常 | 10２ | １１,４２７,６４0 | 1,4６０４２０ | １,８８０ | １５,９３０,２０６４,７９９,６０２ |
| 合　　計 | 通常異常合計 | － | － | － | － | １５８,５９１,８９６６１,５６５,１３５２２0,１５７,0３１ |

※１　各期の通常補てん金は、分割交付の合計金額。

※２　令和５年度第１四半期以降の異常補てんは、国による緊急補てん金　の交付金額。

（５）分割交付の状況

補てん金については、令和４年度第１四半期補てん分から通常補てん金の単価を分割し交付されました。金額には廃業等による精算額を含みます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 交付時期 | ３四半期前の補てん金分 | ２四半期前の補てん金分 | １四半期前の補てん金分 | 当四半期の補てん金分 | 合計金額(円) |
| 令和４年度第４四半期 | (@1,259)13,831,015 | (@1,363)14,366,285 | (@1,813)20,546,274 | (@９５０)９,７９４,４５１ | （＠5,385）5８,５３８,０２５ |
| 令和５年度第１四半期 | (@1,363)14,223,717 | (@1,813)20,212,034 | 0 | (@３,８７9)４２,６２３,４９８ | （＠7,055）７７,０５９,２４９ |
| 令和５年度第２四半期 | (@1,813)20,204,782 | 0 | (@1,057)11,614,280 | (@３，０00)３２,０１０,８８７ | （＠5,870）６３,８２９,９４９ |
| 令和５年度第３四半期 | 0 | (@1,057)１１,６２５,９０７ | (@400)４,２６９,９６８ | (@４２３)４，８３３，９３３ | （＠１，８８０）２０,７２９,８０８ |
| 合　　計 |  |  |  |  | ２２０,１５７,０３１ |

（６）配合飼料価格差補てん事業の運営に関する実態調査

令和５年９月６日付けで一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金理事長から実施通知があり、過去の調査対象をならびに契約数量等を勘案し、実態調査要領に準じて調査対象(１荷受組合、２特約店)を選定しました。

令和５年１０月１２日および１１月２８日に飼料荷受組合１件、特約店２件の聞き取り調査を実施しました。いずれも配合飼料価格安定基金の運営に係る手続きは適正に執行されていました。

２　配合飼料価格高騰対策緊急支援事業

滋賀県が令和５年度予算で実施した標記事業について、定款第４条の（３）に基づき、令和４年度に引き続き事業実施主体として参加しました。

（１）事業内容

令和４年度第４四半期分については、配合飼料価格安定制度の基準輸入　原料価格(過去１年間の平均)と本事業の基準輸入原料価格(過去３年間の平均)の差額の95％から国の支援額を差し引いた２分の１を交付単価として、契約数量または購入実績のいずれか低い方に乗じた額を交付するものです。

なお、令和５年度第１四半期から第３四半期については、農家負担の激変緩和に少しでも対応できるよう基準輸入原料価格の期間を見直され、直前2.5年の価格と直前から令和元年度同期まで期間の価格との差額で算出するよう交付要綱を改正されました。

補助金の交付対象者は、４四半期全体で83者でした。

（２）補助金額

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期　　間 | 交付対象者 | 交付対象数量(kg) | 支援単価 (円/トン) | 交付金額(円) |
| 令和４年度第４四半期 | ８１者 | 10,298,990 | ２，９00 | 29,867,071 |
| 令和５年度第１四半期 | ８２者 | 10,947,266 | ３，０００ | ３２，８４１，７９８ |
| 令和５年度第２四半期 | ８１者 | 10,６７０,２９6 | ３，７００ | ３９，４８０，０９５ |
| 令和５年度第３四半期 | ８０者 | 1１,４２７,６４０ | ４，２００ | ４７，９９６，０８８ |
| 計 | － | － | － | １５０，１８５，０５２ |

３　配合飼料価格高騰緊急特別対策事業

一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金が事業主体となり実施した標記事業について、定款第４条の(３)に基づき委託契約を結び、令和４年度第４四半期分を交付しました。

令和４年度に交付した令和４年度第３四半期分とともに、令和６年４月に提出する事業取組実績報告書をとりまとめ確認しています。

（１）補助金額

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期　　間 | 対象加入者 | 交付対象数量(kg) | 支援単価 (円/トン) | 交付金額  (円) |
| 令和４年度第３四半期 | ７８者９２件 | 11,119,660 | 6,750 |  75,057,703推進指導費 ５７，７５７ |
| 令和４年度第４四半期 | ８１者９３件 | 10,290,990 | 8,500 |  87,473,415推進指導費 ５５，２０８ |
| 計 |  | 21,410,650 |  | 162,531,118推進指導費１１２，９６５ |

４　畜産高度化支援リース事業

定款第４条の(２)に基づき実施した畜産高度化支援リース事業については、貸付料、貸付機械譲渡料、保険料等の徴収および納付ならびに施設の管理状況の把握に努めました。

（１）事業主体　一般財団法人畜産環境整備機構

（２）機械の貸付内容

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 貸付者数 | 年度 | 貸付機材 | 備　考 |
| 直接リース堆肥保管施設整備リース事業 | 1 | 平成25年度 | 堆肥置場2棟、ｼｮﾍﾞﾙﾛｰﾀﾞｰ | 1/2補助付き |
| 1 | 平成26年度 | 堆肥置場2棟、発酵機 |

（３）貸付料の徴収および納付額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位:円)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 種　　類 | 基本貸付料 | 消費税相当額 | 附加貸付料 | 保証保険料 | 計 |
| 平成25年度貸付機材分 | １，０２０，０００ | ５１，０００ | １２,９２０ | ９，４００ | １，０９３，３２０ |
| 平成26年度貸付機材分 | 887,490 | 70,998 | 21,299 | ２６，６９０ | １，００６，４７７ |
| 合計 | 1,９０７,490 | １２１,９９８ | ３４,２１９ | ３６，０９０ | ２，０９９，７９７ |

５　肉用子牛生産者補給金制度事業

定款第４条の(３)に基づき実施した肉用子牛生産者補給金制度事業については、契約者に対して子牛の個体登録、販売・保留確認申出等の手続きを進め、生産者負担金と手数料の徴収および納付を行ないました。

また、１１月１５日には、一般社団法人滋賀県畜産振興協会が実施する事務委託先執行状況調査を受けるとともに、契約生産者調査・指導に同行しました。

（１）事業主体　一般社団法人滋賀県畜産振興協会

（２）契約者数　１１者、事務手続き対応７者

（３）生産者負担金等の徴収および納付額

　　　（R4.11.2～R5.11.1生まれ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品　　種 | 個体登録頭数 | 生産者負担金 | 手数料（1,000円/頭） |
| 頭数 | 単　価 | 金　額 | 金　額 |
| 黒毛和種 | ５１６ 頭 | ４１３ 頭 | 400円/頭 | １６５，２00円 | ５１６,000円 |
| 交雑種 | ２４５ 頭 | ２４５ 頭 | 800円/頭 | １９６，000円 | ２４３,000円 |
| 合　　計 | ７６１ 頭 | ６５８ 頭 |  | ３６１，２00円 | ７５９,000円 |

（４）補給金の交付状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 黒毛和種 | 交雑種 | 交付金額（単位：円） |
| 交付単価 | 交付頭数 | 交付単価 |
| 令和４年度第４四半期令和５年度第１四半期令和５年度第２四半期令和５年度第３四半期 | －　　　－　　　３４，４００円／頭３３，５００円／頭 | －　　－　　１２３ 頭１３３ 頭 | －　　－　　－　　－　　 | －　　－　　４，２３１，２０0円４，４５５，５０0円 |

* 交付金は(独)農畜産業振興機構から契約者指定口座に交付。

６　肉用牛経営安定対策補完事業

定款第４条の(３)に基づき実施した肉用牛経営安定対策補完事業は、中核的担い手が計画的に優良な繁殖雌牛を増頭した場合に、増頭実績に応じた補助金を交付する事業です。

前年に繁殖母牛を維持増頭している５者からの申請書類をとりまとめ、参加申請するとともに事業実施計画と交付申請書を提出し交付決定を受けました。

同様の生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）の補助対象となる牛が重ならないよう関係クラスター協議会と調整した結果、当該事業対象牛はいませんでした。

（１）事業主体　一般社団法人滋賀県畜産振興協会

（２）事業申請　５者（対象見込み頭数１４頭、補助金額１，４００千円）

（３）実施状況

①実施農家の内２件は増頭できなかったため事業対象外となりました。

②増頭３件の対象牛６頭が生産基盤拡大加速化事業の補助対象牛と重複したため、本事業対象牛は０頭、補助金額は０円となりました。

７　畜産経営者支援事業

（１）畜産物ＰＲ活動への協力

滋賀県養鶏協会が東近江市農林水産祭に参加し実施した消費者への玉子と近江しゃものＰＲ活動を支援協力しました。

（２）家畜防疫に関する情報発信

定款第４条の(４)に基づき、滋賀県等を経由して通知される家畜防疫等に係る情報を希望される会員様にメール送信しました。

家畜衛生情報（高病原性鳥インフルエンザに関するもの）　１６回

同（牛ボツリヌス症に関するもの）　　　　　　　　　　　　４回

同（豚熱に関するもの）　　　　　　　　　　　　　　　　　３回

同（口蹄疫、その他防疫対策の徹底に関するもの）　　　　　３回

通知（高病原性鳥インフルエンザ発生予防のための消毒実施）１回

８　協会運営の改善に向けた検討

協会が所管する事務事業について、より円滑な実施を図るため、一般社団法人滋賀県畜産振興協会との連携について検討を行い、近隣県の基金協会への聞き取り調査を実施しました。

今後、基金協会の事務局業務について、委託方法などより具体的な内容を検討し、令和６年度理事会および定時総会にお諮りいたします。

**Ⅱ　管理・運営事項の報告**

１　会議

（１）総会、理事会の開催

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 開催月日 | 開催場所 | 審　議　事　項　等 |
| 総　　　会 | 5.5.24 | 近江八幡市 | 令和４年度決算報告書の承認、役員の改選、令和５年度役員の報酬総額の承認 |
| 臨時総会 | ６．３．２５ | 見なし決議 | 令和6年度会費の額および徴収方法等の承認 |
| 監査会 | 5.4.25 | 近江八幡市 | 令和４年度事業報告書および決算書類の監査 |
| 理事会 | ５.5.24 | 近江八幡市 | 令和４年度事業報告、令和５年度事業計画および収支予算書の一部変更、役員候補者の推薦、常務理事の選定、第４８回定時総会提出議案、規程の一部改正 |
| 6.　3.　６ | 近江八幡市 | 令和６年度事業計画および収支予算（案）の承認、令和５年度臨時総会（書面）議案および日程について、第４９回定時総会の日程等について |

（２）会議、研修会等の参加

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会　　議　　名 | 開催月日 | 開催場所 | 内　容　等 |
| 一般社団法人滋賀県畜産振興協会理事会 | 5.6.15 | 近江八幡市 | 出席者：理事長決議事項：通常総会の開催日時・場所および提出議案について、諸規定の一部改正について、次期監事の推薦について |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金第５０回定時総会 | 5.6.16 | 東京都 | 出席者：理事長・常務理事決議事項：令和５年度会費の額の件、同役員報酬の総額の件、理事・監事の選任の件、借入限度額の再設定に関する件 |
| 会　　議　　名 | 開催月日 | 開催場所 | 内　容　等 |
| 一般社団法人滋賀県畜産振興協会令和５年度通常総会 | 5.6.28 | 近江八幡市 | 出席者：理事長決議事項：令和４年度貸借対照表・正味財産増減計算書の承認、入会および会費に関する規定の一部改正、役員改選について |
| 滋賀県養鶏協会第４１回通常総会 | 5.7.4 | 近江八幡市 | 出席者：理事長決議事項：令和４年度事業報告、収支決算報告、令和５年度事業計画、収支予算、令和５年度経費の賦課・徴収方法、役員選出 |
| 一般社団法人滋賀県畜産振興協会令和５年度主要事業担当者会議 | 5.7.21 | 近江八幡市 | 出席者：常務理事説明事業：肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）制度、畜産振興経営対策や酪農ヘルパー対策、家畜防疫体制確保対策など振興協会実施事業 |
| 令和５年度第１回近畿府県配合飼料価格安定基金協会連絡協議会 | 5.8.2 | 奈良市 | 出席者：常務理事・職員内容：各府県基金協会における地域情報の交換、配合飼料価格差補てん制度を巡る情勢、その他 |
| 畜産高度化支援リース事業等全国説明会 | 5.8.28 | Ｗｅｂ会議 | 出席者：常務理事・職員説明事項：令和５年度LEIOのちくかんリース事業、ちくかんリースの特徴、ちくかんリース事業の申請・審査のポイント等、貸付決定から貸付終了までの流れ |
| 令和５年度基金協会新任役員研修 | 5.9.4～5.9.5 | 東京都 | 出席者：常務理事研修内容：配合飼料価格安定制度、基金協会の業務運営、補てん事業の留意事項、総会・理事会の手続き、全日畜の概要、飼料・畜産を巡る情勢、工業会の組織・業務、メーカーの業務と役割、共同買付の概要、畜産生産者の支援業務 |
| 令和５年度家畜防疫演習（座学） | 5.9.26 | Ｗｅｂ会議 | 出席者：常務理事・職員研修内容：特定家畜伝染病の発生状況、家畜伝染病発生時の防疫対応 |
| 令和５年度家畜防疫演習（実働型演習） | 5.10.3 | 近江八幡市 | 出席者：職員演習内容：集合場所設営及び高病原性鳥インフルエンザ発生時の健康調査、車両消毒ポイントにおける車両消毒、テント基地設営および防疫作業従事者対応、農場内殺処分作業模擬演習 |
| 会　　議　　名 | 開催月日 | 開催場所 | 内　容　等 |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金第４回運営委員会 | 5.10.19 | 東京都 | 出席者：理事長決議事項：第２四半期に係る補てん金・分割交付について、長期借入金の借り入れについて |
| 滋賀県養鶏協会50周年記念大会 | 5.10.24 | 近江八幡市 | 出席者：理事長内容：記念式典および祝賀会 |
| 協同組合日本飼料工業会、(一社)全日本畜産経営者協会第３回飼料・畜産研修会 | 5.11.8 | Ｗｅｂ会議 | 出席者：常務理事テーマ：つながりが新しい価値を生む畜産業のヒント（畜産経営の現状課題とそれぞれの展開状況、日本の経済状況と市場から見る畜産、新たな畜産の未来ステージ） |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金・協同組合日本飼料工業会による令和５年飼料基金関係説明会 | 5.11.21 | 名古屋市 | 出席者：常務理事・職員説明事項：補てん制度にかかる新たな仕組みについて、令和6年度に係る契約事務について、継続加入推進に係る確認処理について、基金間移動に伴う事務処理日程等について、一般会計の予算編成について、飼料工業会の活動報告について |
| 令和５年度農林漁業関係団体人権研修会 | 5.1２.１1 | 草津市 | 出席者：常務理事講演：人権問題の現状と課題講師：滋賀県人権センター　河口守男氏 |
| 会計実地検査にかかる事前説明会 | 5.12.27 | Ｗｅｂ会議 | 出席者：常務理事・職員説明事項：会計検査院（第４局農林水産検査第３課）実地検査について、検査対象事業について、受検準備および留意事項について |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金第５回運営委員会 | ６.1.1８ | 東京都 | 出席者：理事長決議事項：第３四半期通常価格差補てん金・分割交付について、積立金の額・別途納付金の額について、借入金の返済について、令和６年度事業計画書および収支予算書の設定・会費の額について、常勤役員報酬の額について、定時総会の招集について |
| 一般社団法人滋賀県畜産振興協会理事会 | 6.3.19 | 近江八幡市 | 出席者：理事長決議事項：令和６年度事業計画および正味財産増減計算予算について、短期借入金および長期借入金の最高限度額について、運営資金のための畜産振興基金の一時的な流用について、諸規程の一部改正について |

２　正会員の異動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会　　　員 | 期首会員数 | 期中の動向 | 期末会員数 |
| 加　入 | 脱　退 |
| 荷受組合 | １３　 | ０　 | ０　 | １３　 |
| メーカー | １２　 | ０　 | ０　 | １２　 |
| 特約店 | ３　 | ０　 | ０　 | ３　 |
| 計 | ２８　 | ０　 | ０　 | ２８　 |

３　令和５年度会費の徴収

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会　　員 | 徴収会員数 | 徴収金額 | 備　　考 |
| 荷受組合 | １２　 | ２，８００，６８０円 | １トン当り　６０円 |
| メーカー | １２　 | １２０，０００円 | １社当り　１０，０００円 |
| 特 約 店 | ３　 | ３０，０００円 | １社当り　１０，０００円 |
| 合 　計 | ２７　 | ２，９５０，６８０円 |  |